



# 空調・冷凍機制御システム『エレトク』製品説明

～ 貴社の業務用空調機や冷凍機の電力代を15%前後削減 ～

エレトク  
E R E T O K U



株式会社  
エレトク  
E R E T O K U

【本社】

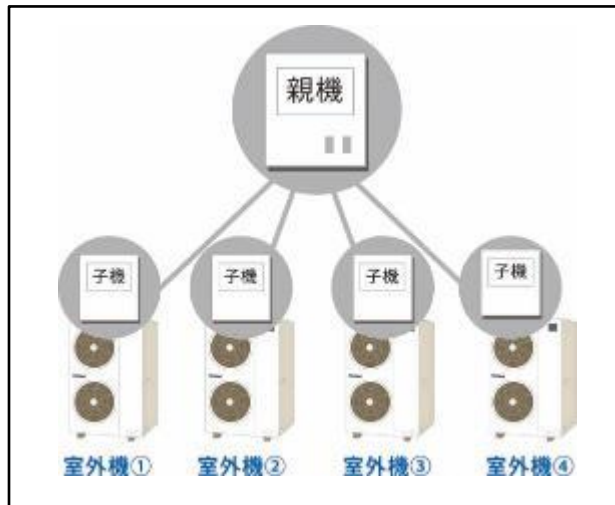
〒105-0014 東京都港区芝3-40-4 三田シティプラザ4F  
TEL/03-6435-2669 FAX/03-6277-7034

【大阪事務所】

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島7-8-17  
花原第5ビル9F

# ① 1台で最大4系統の室外機を制御。従来型比設備・設置コストを大幅ダウン

従来型制御

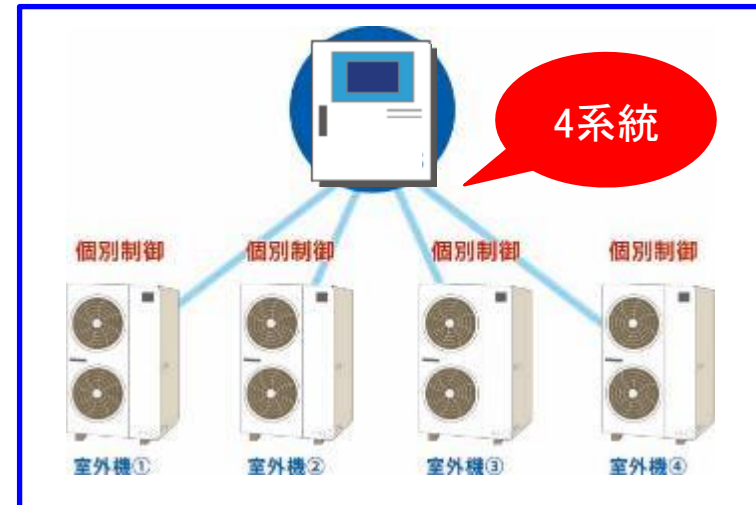


● 室外機1台に子機1台。さらに親機で制御

● 4系統の室外機にもPCで簡単設定。



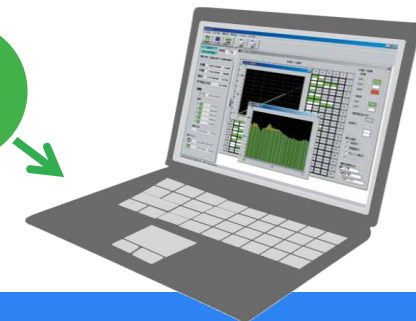
エレクトク(空調制御システム「ADD-CR」)



● 1台で4系統の室外機を個別制御＝大幅なコストダウン

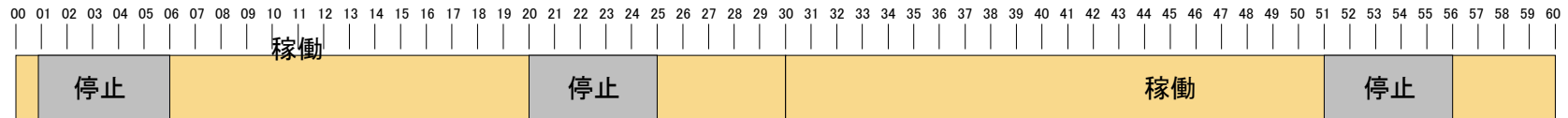


監視  
制御



## ② 30分に1回、3～5分間圧縮機を停止し『15%前後の電力代を削減』します。

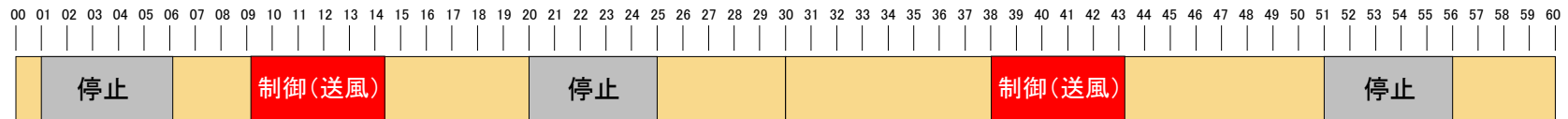
### ●通常運転時の圧縮機の動き



一般的に空調室外機は設定温度に到達すれば1時間に数回、圧縮機が停止するように設計されています。



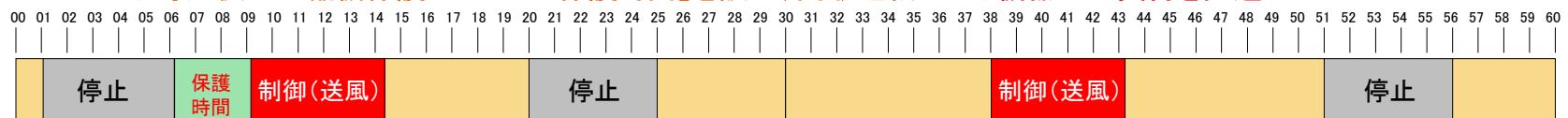
### ●＜エレクトク導入後＞3～5分間の圧縮機停止の連続制御により、快適性を維持しつつ節電を実現



**サイクリック制御**(間歇運転)によって圧縮機を停止することは、通常稼働中に**停止回数を30分に1回増やす**動きになります。  
制御によって生じる**温度変化**は体感的には極めて小さく、**快適環境を維持したまま電力代節減**が可能になります。



### ●＜エレクトク導入後＞圧縮機保護のための「保護時間」を設け、間歇運転による機器への負荷を回避



室外機が停止した状態から稼働し始めた直後に制御によって強制的に停止すると圧縮機に負荷がかかり故障の原因となります。  
そのため、エレクトクでは**圧縮機の電流値を常時監視して、停止後に保護時間を設けて圧縮機への負荷を回避**しています。

### ③ 室外機1台ごとに、『時間帯別・月別単位の肌理細かな制御』が可能です。

時間帯別スケジュール例

時間	EVENT	制御の考え方
8	開店準備	制御＝強 ※省エネ優先
9		
10	標準制御時間帯	
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18	繁忙時間 (集客優先)	制御＝弱 ※環境優先
19		
20		
21		
22		
23	閉店・清掃	制御＝強 ※省エネ優先
24		

月別スケジュール例

月	EVENT	制御の考え方
1月	正月繁忙期	制御＝弱 ※環境優先
2月	標準制御時間帯	
3月		
4月		
5月	GW繁忙期	制御＝弱 ※環境優先
6月	標準制御時間帯	
7月		
8月	夏季繁忙期	制御＝弱 ※環境優先
9月	標準制御時間帯	
10月		
11月		
12月	年末繁忙期	制御＝弱 ※環境優先

曜日ごとのスケジュール制御が必要な場合は別途ご相談下さい

曜日別スケジュール例

曜日	EVENT	制御の考え方
月	標準制御時間帯	
火		
水		
木		
金		
土	繁忙日 (集客優先)	制御＝弱 ※環境優先
日		

## ④ 空調のご利用状況に応じ『個別の室外機ごと(エリア)制御』が可能です。

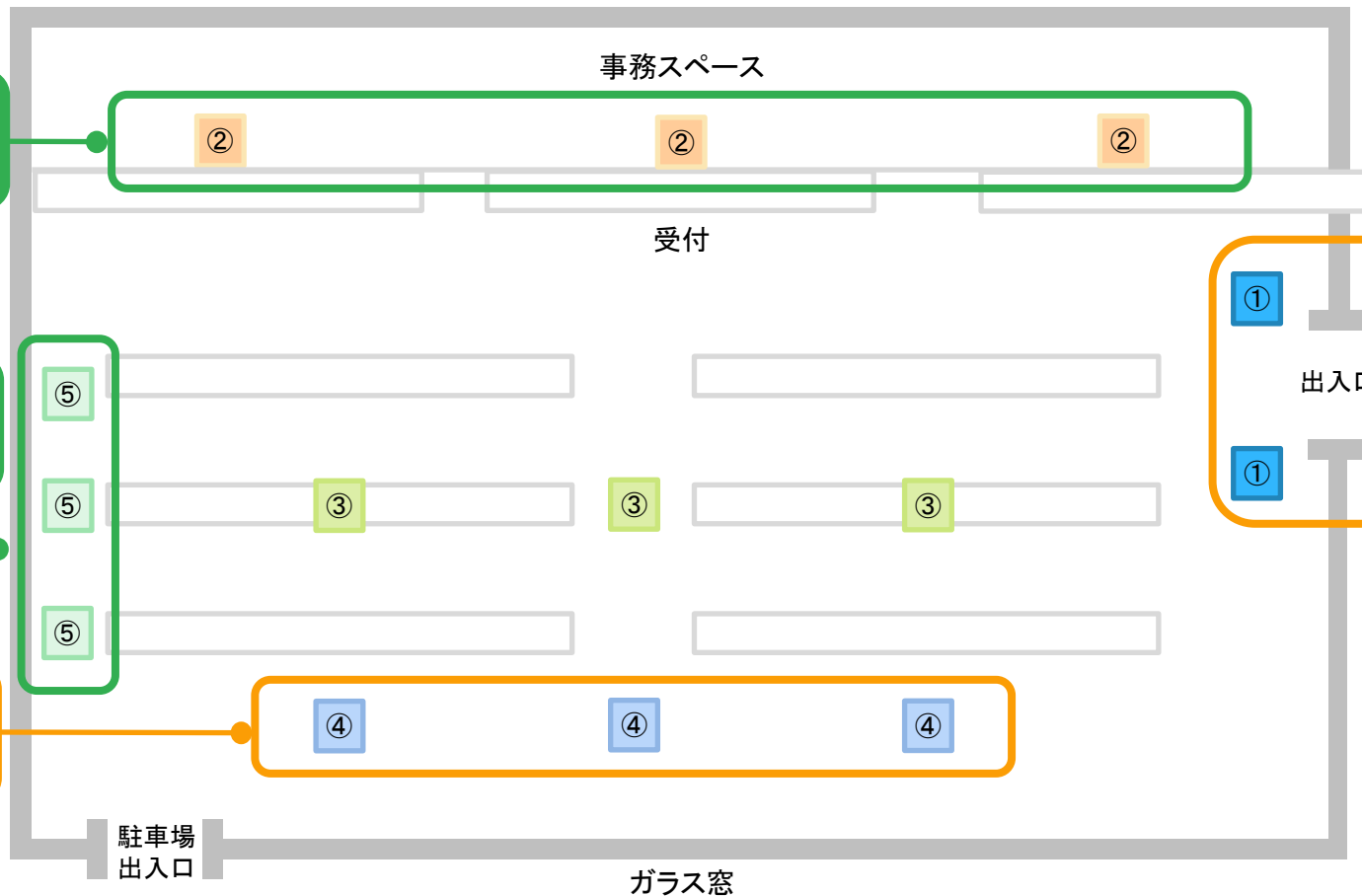
例) 病院の待合室の室外機 ① ② ③ ④ ⑤ を個別制御した場合

人の出入りが激しいから  
快適さを高めたい！  
制御を抑えよう！

滞在時間は短く、一度に  
人が集まること少ない  
制御を強めよう！

滞在時間は短く、一度に  
人が集まること少ない  
制御を強めよう！

ガラス張りで西陽の  
影響を受けやすい！  
制御を抑えよう！



## ⑤ 空調機その他、『冷凍・冷蔵(倉庫/ショーケース)』の節電制御も可能です。

### 電磁弁方式で安全制御

冷凍・冷蔵設備の制御に関しては、圧縮機の電流値監視による制御ではなく、「電磁弁制御」の方式をとっています。そのため圧縮機や設備に負荷をかけることなく、安全な制御が可能になります。

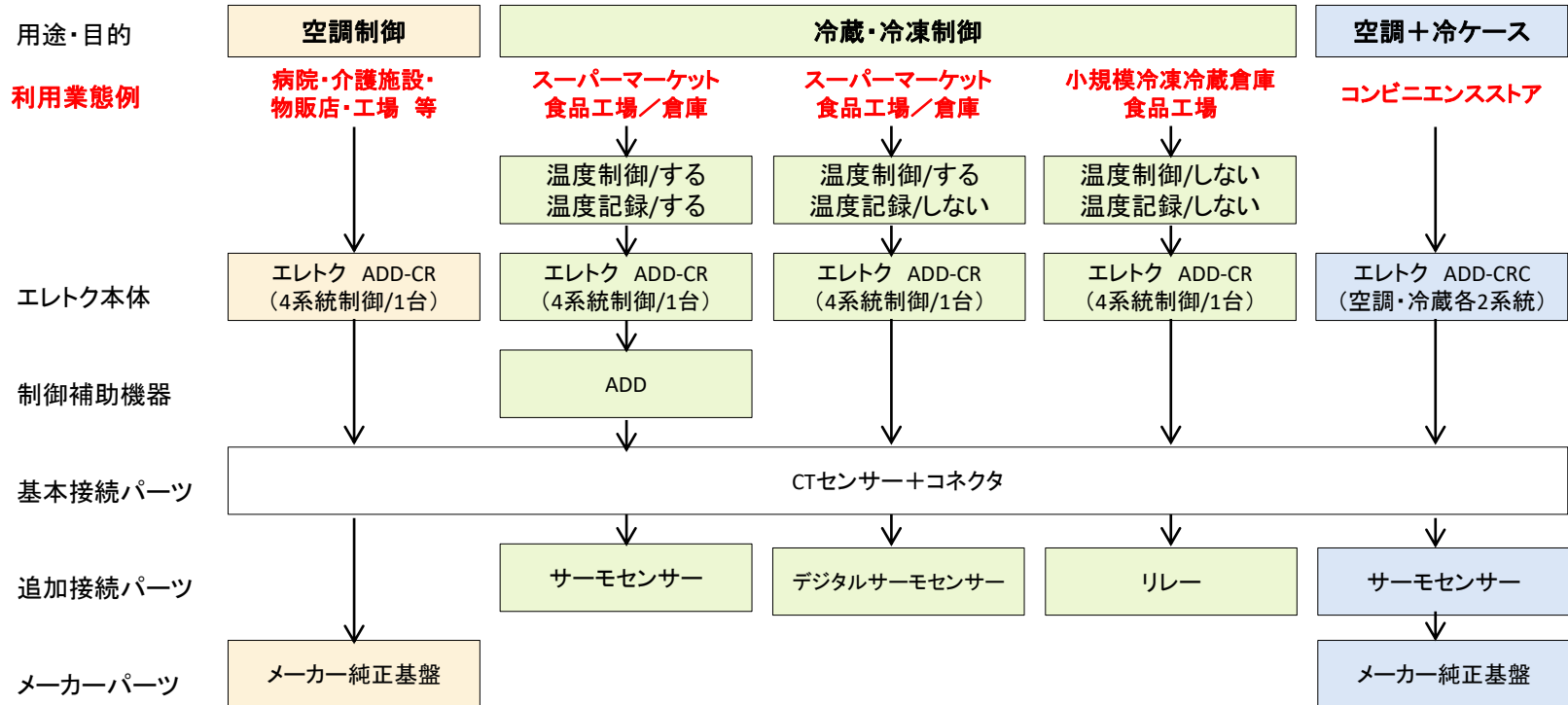
### 容量制御にも対応可能

圧縮機側で容量制御の機能をもっている場合、制御信号を利用して30分に1回の容量制御を行います。圧縮機の30%~70%の能力での稼働で、常時、冷気が流れ込むため温度管理を必要とする設備でも有効な節電方式です。

### 温度管理制御で品質維持

「温度センサー(オプション)」を設置することで、制御がかかった場合に「設定温度帯からはずれ可能性」を認識すると、制御を回避する機能を負荷することができます。品質維持を優先しながら節電制御を実現するシステムです。

### ●エレクトク 用途別のシステム構成バリエーション

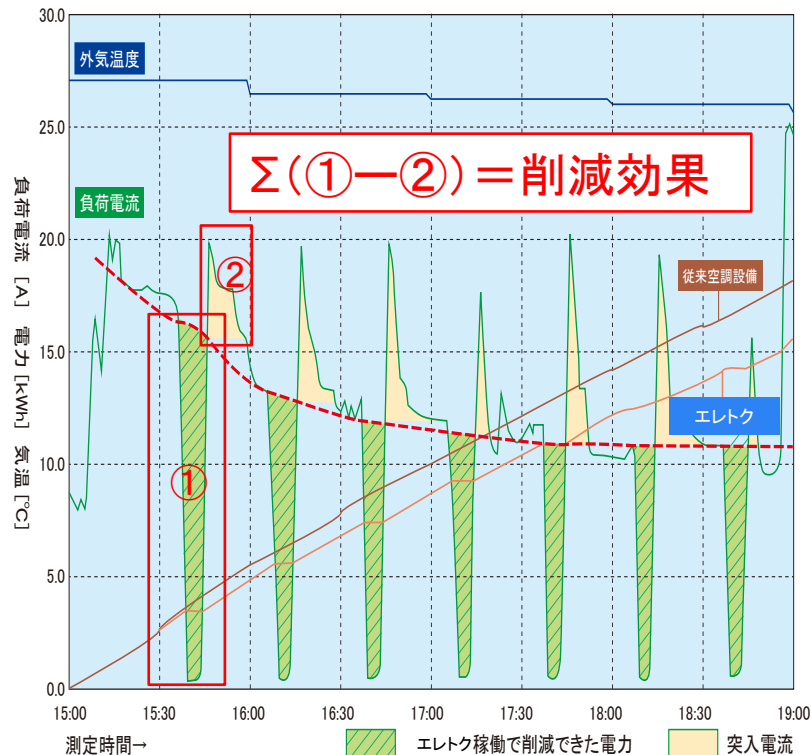


## ⑥ 制御による負荷電流を計算、節電効果を『ロジカルに算出・可視化』します。

エレクトクは、制御する室外機における電流測定値・制御回数・制御時間を記録・保存します。

記録・保存した測定データを抽出・解析、削減効果をロジカルに算出しご提示します。

これにより、**節電効果を透明性の高い形で「可視化」**致します。



- ★ コンプレッサの消費電力を1秒毎に電流スキャンし、30分毎の消費電力量・デマンド値を最大180日分記録します。
- ★ 電力会社様との協議による単純計算ではなく、停止時・起動時の過剰運転電力を計測する、実態に即した計算ロジックとなっております。



削減効果は、空調機・冷凍機1台ごとに厳密に計測しております。

従来の対前年比較や制御・商用運転の比較による演算と比べても、より精度が高いものとなっております。

## ⑦ 豊富な採用実績は『信頼』の証。主要な弊社空調制御採用先（2021/9現在）。

納入件数累計	
業態	件数
工場	492件
オフィス	470件
金融機関	322件
スーパー	678件
コンビニ	135件
公共・病院・学校・福祉	183件
パチンコ・遊技場・ ボーリング場	304件
娯楽施設・ゴルフ場・ スポーツクラブ・ 健康ランド	39件
倉庫	72件
宿泊施設・結婚式場	49件
飲食業	774件
小売専門店	612件
その他	50件
海外	37件
<b>【合計】</b>	<b>4,217件</b>

工場
旭化成 大分工場様
凸版印刷 柏工場様ほか
パイオニア 川越工場様ほか
中村屋 東京工場様ほか
沖電気工業 東京工場様ほか
明治製菓様
守山乳業様
川崎重工 西明石工場様
ANAケータリング 成田工場様

GMS・娯楽・スポーツ施設
マッスルパーク千歳様
パーラーアネシス 豊中店様ほか
オークスポーツクラブ川越様ほか
ナムコランド 名取店様ほか
スーパーボウル 三田様ほか
セントラルフィットネスクラブ府中様
コープおおいだ別府店様
イオン(旧ジャスコ店舗)様
イオン(旧ダイエー店舗)様

医療・福祉関係
特養ホームきたがわ荘様
特別養護老人ホーム清菊園様
介護老人保健施設のぞみ様
大宮共立病院様
兵庫県立 あわじ病院様
東北大学医学部 付属病院様
伊豆函南病院様
高槻赤十字病院様
倉敷中央病院様

スーパー・小売店
ユニクロ 原宿店様ほか
メンズプラザアオキ 葛西店様ほか
TSUTAYA 東大島店様ほか
イエローハット 千里が丘店様ほか
ドラッグユタカ 笠松店様ほか
明林堂書店 佐賀北店様ほか
ベスト電器 高千穂店様ほか
ローソン(大阪府店舗)様
ダイキ 伊予店様ほか

金融機関・オフィス
静岡銀行様
三菱東京UFJ銀行様
三井住友銀行様
NTT 各事業所様
総合警備保障様
田辺製薬様
日本ハム様
大和ハウス工業様
ニッセン様

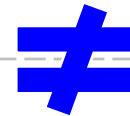
飲食
ロイヤルホスト 川越店様ほか
和民 池袋東口店様ほか
ドトールコーヒー 京橋店様ほか
印度屋カレー 千林店様ほか
ピザラ 一宮店様ほか
華屋与兵衛 大国町本店様ほか
ぎゅあん 岡山中央店様ほか
びっくりドンキー 朝霞幸町店様
イタリアントマト JR新宿東口店様



## ⑧『エレクトク』はデマコンではありません！

### デマコン(デマンドコントロールシステム)

目的	●「基本料金」部分の削減(ピークカット)
制御	▲設定ピーク電力値に近づくと強制的にカット
環境	▲室内環境が悪化しても制御実行を優先
負荷	▲制御に伴う室外機への負荷は考慮されず
即効性	●電力会社へ申請すれば翌月から基本料金部分の削減が可能



### エレクトク(空調制御システム「ADD-CR」)

●「電力使用料金」部分の削減
●圧縮機の稼働状況を監視し連続的に制御
●室内環境に配慮した肌理細かな制御可能
●室外機への負荷を軽減する制御を実行
▲制御開始までに一定の(設置)期間が必要なお、

オプションとしてデマコンの追加が可能


既設のデマコンとの併用も可能

【ご参考】デマンドコントロールシステム(東京電力HPより抜粋)

- 節電対策にはデマンドコントロールシステムが有効です。最大デマンドを抑制することで、電気の基本料金の低減につながります。お客さまの電力の使用状況の把握にデマンドコントロールシステムの導入をお勧めします。
- お客さま自らがデマンドの目標値を設定し電気機器を管理することで、最大デマンドが大きくなることを抑制し、契約電力の減少を図るシステムです。
- 電気機器の制御方法としては、あらかじめ制御する電気機器を決定しておき自動で制御するパターンと、アラームや警報などの通知を受けたお客さまが手動で制御するパターンがあります。

## 現地調査

## ① ヒアリングシート一面は、電力料金請求書から記入して下さい。



エレクト  
0

## ヒアリングシート

現状の電力契約・ご利用状況などについてお聞かせください。削減可能なシミュレーション試算をご提出いたします。  
ご記入に際して不明な点は、営業担当までお気軽にご相談ください。

御社名	住所	
主担当		
副担当		
お電話番号	ファックス	
建物用途	代理店	

**電力契約に関するご質問**

契約種別	業務用 ・ 高圧A ・ 高圧B ・ 特高 ・ (他) 高圧電力
現在の電力会社:	
電力料金単価	夏季 14.69 円 / 夜間 円 / 他季 13.78 円
ピーク	円 /
基本料金	1838.27 円

**空調の稼働期間・日数・時間帯に関するご質問**

空調の使用期間	冷房: 月 ~ 月 / 1日の空調使用時間 時間	暖房: 月 ~ 月 / 1日の空調使用時間 時間	稼働日数・時間	1ヶ月平均稼働日数 日間 / 1日平均稼働時間 時間
---------	--------------------------	--------------------------	---------	----------------------------

**省エネに関するご質問**

目的	基本料金削減 (目標 %)	電力料金削減 (目標 %)	導入予定時期	導入状況
導入予定時期	すぐに ・ 年 月頃 ・ 相談して決めたい ・ 未定	既に空調制御機(デマコン)を導入している ・ 検討している ・ 不明	パルス検出器の有無	有 ・ 無
デマコン種別	サイクリック制御	有 ・ 無		

**電力使用状況 ◆使用料金ではなく、使用量を記入して下さい。電力料金請求書の使用量の写しでも構いません。**

月	最大需用電力 (Kw)	電力使用量 (Kwh)	備考
(例)	238 Kw	70035 Kwh	
1月	Kw	Kwh	
2月	Kw	Kwh	
3月	Kw	Kwh	
4月	Kw	Kwh	
5月	Kw	Kwh	
6月	Kw	Kwh	
7月	Kw	Kwh	
8月	341 Kw	131,816 Kwh	
9月	Kw	Kwh	
10月	Kw	Kwh	
11月	Kw	Kwh	
12月	Kw	Kwh	

※注 電力料金ではありません。  
契約電力 (kW) と使用量 (kWh) です。のでご注意ください。

電気料金御請求書／御細書

(2019年09月分)

発行日: 2019/09/10

御中

平素は株式会社Jcomへご利用頂きまして誠にありがとうございます。  
当月の電気料金につきまして、以下のとおり請求申し上げます。

ご請求金額: 2,649,787円  
うち消費税相当額 196,280円

ご使用期間: 2019/08/02 ~ 2019/09/01 日

ご使用場所:

お支払い方法: □ 口座振替

引落日/振込期: 2019/10/21

(金融機関休業日の場合は翌営業日)

契約種別: 高圧電力

契約電力: 341 kW

力率: 100 %

当月最大需用電力: 341 kW

使用電力量: 131,816 kWh

ご請求金額内訳

項目	単価 (円)	数量	単位	金額 (円)
基本料金				
基本料金	1,838.27	341	kW	532,822.55
力率調整				626,850.07
				-94,027.52
電力量料金				1,936,377.04
夏季	14.69	131,816.0	kWh	1,936,377.04
他季	13.78	0.0	kWh	0.00
燃料費等調整額				-208,269.28
燃料費等調整額	-1.58	131,816.0	kWh	-208,269.28
再エネ発電助成金				388,857.00
再エネ発電助成金	2.95	131,816.0	kWh	388,857.00
合計金額				2,649,787.00
うち消費税相当額				196,280.00

その他内容内訳

項目	内容	単位
今回検計日	2019/09/05	
次回検計日	2019/10/07	
有効電力量	93,781	kWh
無効電力量	0	kWh
計器番号(下3桁)	220	
計器失率(%)	600	
翌月標準費率	-1.74	円/kWh

[参考] 託送料金相当額(再掲)

461,260.00

電力消費量(単位: kWh)												
	当月	前月	2ヶ月前	3ヶ月前	4ヶ月前	5ヶ月前	6ヶ月前	7ヶ月前	8ヶ月前	9ヶ月前	10ヶ月前	11ヶ月前
kW	341	329	244	250	226	239	305	292	264	214	208	268

- 基本料金単価は、力率95%の場合であり、当月の力率が95%を上回る場合は割引、下回る場合は割増して計算しております。
- 夏季とは、毎年7月1日から9月30日までを指し、その他とは毎年10月1日から翌年の6月30日までを指します。
- ご請求金額は、基本料金、電力量料金、燃料費等調整額を合計し、再エネ発電助成金を差し引いた金額となります。
- 毎月調整額は、毎月のご請求書発行時、一般送配電事業者から提供される契約電力等の数値に基づき算出された金額となります。
- 計器が故障した場合、契約電力、有効電力、無効電力が異なる場合があります。

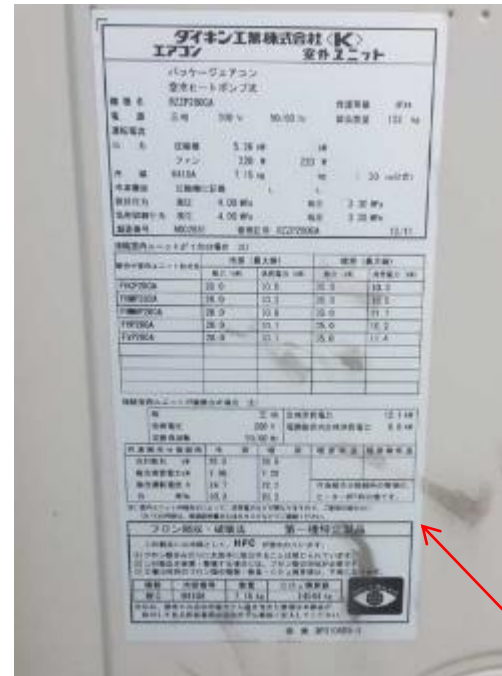
燃料費等調整額は、燃料費調整率と燃料消費率に基づき算出された金額となります。

## 現地調査 ② 室外機型番は正確に。型番記載部の写真を必ず残して下さい。

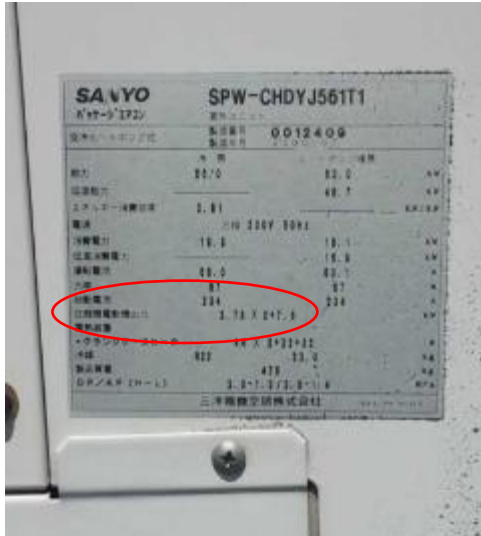
機器調査(室外機)							
No.	系統	名称	メーカー	型式	圧縮機容量 レプラー の設置場所	日使用時間 年使用日数	その他 特記事項
(例)	MAC-1	1F事務所	ダイキン	RSXYP450P	11.7	屋上	12 / 365 市房設定29℃ 暖房設定20℃
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

### 設置場所見取り図

室外機の数: 合計 台



## 現地調査 ③ シート記載時に注意が必要な室外機 制御対象外の室外機



### 圧縮機の表記に複数の数字

圧縮機出力に＜3.75×2+7.5＞のように複数の数字が記載されている場合、これは3.75kWの圧縮機が2基、7.5kWの圧縮機が1基が搭載されていることを示しています。試算時の1台あたりの出力は15kWとなります。



### 複数の冷媒管が連結して室内へ

室外機から出た冷媒管が複数統合されて室内へ引き込まれている場合、複数の室外機が連結されています。この場合、親機を制御すれば子機も自動的に制御されます。試算時は室外機の圧縮機出力の合計数値を記入して下さい。



### 複数の冷媒管が連結して機内へ

冷媒管が複数統合されて別の室外機に引き込まれている場合、この室外機が冷房と暖房を同時に使用できるといった特殊な働きをしている場合があります。この場合は室外機型番と連結している圧縮機の合計出力を記載して下さい。

### 注意！

- ・ガスヒートポンプ式空調機・ルームエアコン・氷蓄熱式空調機は制御対象外となります。
- ・R-22冷媒を使用している室外機も避けて下さい。
- ・ビル用マルチの場合は、1台の室外機につながっている複数の室内機が同時に制御されますので、ご留意下さい。

# 削減試算 ① 省エネ効果試算結果報告書(フェイスシート)の見方

「エレクトク」省エネ効果試算結果報告書

御中

株式会社エレクトク  
〒105-0014 東京都港区芝3-40-4 三田シティプラザ4F  
Tel. 03-8435-2669 FAX 03-6277-7034

動力用省エネ装置「エレクトク」は空調機・冷凍機を制御し、使用電力(使用料金)の削減と  
デマンド(基本料金)を低減し、電力の省エネ＝電気代のコストダウンをする装置です。

動力用省エネ装置「エレクトク」を導入されると

使用電力量を削減することによる「地球温暖化ガス・CO<sub>2</sub>」の削減量は、

年間 **20,958** KgCO<sub>2</sub> ※1  
これは **474** 本の植樹(高さ10m)に相当します。 ※2

※1 このデータは環境省地球環境局地球温暖化対策課 温室効果ガス排出量算定方法検討会の算定基準に  
※2 10kWhの省電力で抑えることのできるCO<sub>2</sub>排出量を算出しております。⇒CO<sub>2</sub>排出原単位 1kWh=0.378kg  
※2 高さ10mの樹木のCO<sub>2</sub>吸収量 44.2kgCO<sub>2</sub> (資料: 独立行政法人 環境再生保全機構 発行 大気浄化樹木マニュアル)

■我々が目指しているのは「地球環境に謙虚」なサービスであり事業です。■

○年間で動力の使用量を **55,447** kWh 削減できます。  
(最大需要電力: デマンドが **30** kW 低減できます。)

↓

○金額換算すると年間で **1,306,773** 円の経費削減になります。  
(消費税別)

対する導入機器は

「エレクトク」制御器本体 **7** 台

株式会社エレクトク  
〒105-0014 東京都港区芝3-40-4 三田シティプラザ4F  
Tel. 03-8435-2669 FAX 03-6277-7034

## ①年間CO<sub>2</sub>削減量

エレクトクによって削減した使用電力量を元にCO<sub>2</sub>排出量の削減量の目安を計算しています。

※排出係数=0.378kgCO<sub>2</sub>/kWhを使用しています。

※排出係数は年度、電力会社、PPS事業者によって異なります。

※補助金申請等に使用する場合は、排出係数の確認を行って下さい。

## ②植樹換算量

①で算出したCO<sub>2</sub>削減量が高さ10mの樹木何本分の環境保全に相当するかを算出しています。

※高さ10mの樹木のCO<sub>2</sub>吸収量=44.2kgCO<sub>2</sub>

## ③電力使用量の削減量(単位=kWh)

## ④デマンド低減量(単位=kW)

## ⑤電力料金の削減金額(単位=円)

※削減金額は(基本料削減金額)+(電力使用料削減金額)

## ⑥エレクトク設置台数

## 削減試算 ② 省エネ効果試算結果報告書(月単位使用量削減)の見方

様		整理No.	
〒			
<b>現行契約内容</b>			
電力会社 契約種別 選択契約 現行契約デマンド	関西電力 業務用電力 通常契約 568 kW	①	基本料金 2051.76 円 他季単価 12.83 円 11.87 円
<b>省エネ効果試算数値</b>			
	デマンド(kW)	使用電力量	制御電力 × 稼働係数 = 使用量削減(kWh)
1月	478	246,764	32,116.69 × 0.30 = 9,635
2月	424	206,084	29,004.63 × 0.25 = 7,252
3月	434	216,141	32,116.69 × 0.20 = 6,423
4月	351	177,718	31,080.67 × 0.00 = 0
5月	364	186,360	31,080.67 × 0.00 = 0
6月	434	216,141	31,080.67 × 0.10 = 3,108
7月	504	245,175	31,080.67 × 0.25 = 7,770
8月	568	304,294	31,080.67 × 0.20 = 6,216
9月	541	239,381	31,080.67 × 0.30 = 9,335
10月	385	191,610	32,116.69 × 0.00 = 0
11月	359	184,547	31,080.67 × 0.20 = 6,216
12月	423	226,357	32,116.69 × 0.30 = 9,635
合計			69,308
		全体係数	0.80
		年間使用量削減(kWh)	⑥ 55,446
<b>省エネ効果試算基準</b>			
制御対象機器台数	22 台	⑥	
圧縮機出力合計	159.88 kW		
対象圧縮機入力係数	1.50		
対象圧縮機入力合計	239.82 kWh		
空調機制御電力	378,148.18 kW		
<b>省エネ効果金額換算</b>			
●夏季使用料金削減額 (7～9月の使用量削減の合算) × 電力単価			
	21,632 kWh		277,540 円
●他季使用料金削減額 (夏季以外の使用量削減の合算) × 電力単価			
	33,815 kWh		401,393 円
●デマンドが抑えられる事による基本料金低減額			
30 kW × 2,052 円 × 0.85 × 12ヶ月 =			627,838 円
年間のトータル削減額		1,306,771 円/年	
(対象入力合計) × (制御率) × (全体係数) × (基本料金) × (力率) × 12ヶ月			

### ① 現行契約内容

削減試算を実施するには基本料金および電力単価を含めた現行契約内容が必須です。

### ② 直近1年の電力使用状況 kWh

電力会社からの請求書に記載された使用状況。削減試算は各月の使用電力量の推移から④稼働係数を算出して計算するため、使用電力量は重要な算出根拠となります。

※使用電力量が得られない場合は、使用している圧縮機の容量と一般的な稼働係数から試算を行いますので、あくまで目安としての削減試算となります。

### ③ 制御電力(月間)kWh

圧縮機の容量から計算した制御できる電力量

【計算方法】

③対象圧縮機入力合計 × 稼働時間 × 稼働日数 × 制御率

### ④ 稼働係数

各月の使用電力量の差異から空調の稼働状況を算出し係数化。

### ⑤ 使用量削減(月間)kWh

削減できる電力使用量。合計は年間削減使用量。

【計算方法】

③制御電力 × ④稼働係数

### ⑥ 使用量削減(年間)kWh

削減できる電力使用量。

※エレクトクの削減試算は前年1年分の電力使用状況を元に試算しているため、その誤差を補正するために全体係数として0.8を掛け、試算の上ブレを抑制しています。

【計算方法】

⑤年間使用量削減(合計) × 全体係数0.8

### ⑦ 対象圧縮機入力係数

空調室外機に記載されている出力は能力(kW)のため、これを消費電力(kWh)に換算するため係数1.5を掛けています。



# 削減試算 ③ 省エネ効果試算結果報告書(空調設備一覧)の見方

様

整理No.

制御対象空調設備

メーカー	機 種	出力 (kW)	制御電力 (kW)	台 数	日 数	時 間	制御率 (%)	年間削減量 (kWh)	系 統
1	三菱電機 PUHY-J224M-B	5.50	2.97	2	365	24	18	3,814.91	
2	三菱電機 PUHY-J224M-B	5.50	1.49	1	365	24	18	1,907.45	
3	三菱電機 PUHY-J224M-B	5.50	1.49	1	365	24	18	1,907.45	
4	三菱電機 PUHY-J224M-B	5.50	1.49	1	365	24	18	1,907.45	
5	三菱電機 PUHY-J224M-B	5.50	1.49	1	365	24	18	1,907.45	
6	三菱電機 PUHY-J224M-B	5.50	1.49	1	365	24	18	1,907.45	
7	三菱電機 PUHY-J224M-B	5.50	1.49	1	365	24	18	1,907.45	
8	三菱電機 PUHY-J224M-B	5.50	1.49	1	365	24	18	1,907.45	
9	三菱電機 PUHY-J224M-B	5.50	1.49	1	365	24	18	1,907.45	
10	三菱電機 PUHY-J224M-B	5.50	1.49	1	365	24	18	1,907.45	
11	三菱電機 PUHY-J224M-B	5.50	1.49	1	365	24	18	1,907.45	
12	三菱電機 PUHY-P560SCM-E2	13.40	3.62	1	365	24	18	4,647.25	
13	三菱電機 PUHY-P280SCM-E2	6.70	1.81	1	365	24	18	2,323.62	
14	三菱電機 PUHY-P450CM-E2	10.50	2.84	1	365	24	18	3,641.50	
15	三菱電機 PUHY-P224CM-E2	5.40	1.46	1	365	24	18	1,872.77	
16	三菱電機 PUHY-P140CM-E2	3.40	0.92	1	365	24	18	1,179.15	
17	三菱電機 PUHY-P560SCM-E2	13.40	3.62	1	365	24	18	4,647.25	
18	三菱電機 PUHY-P850SCM-E2	20.60	5.56	1	365	24	18	7,144.28	
19	日立 RAS-OP160RSH1	3.55	0.96	1	365	24	18	1,231.17	
20	三菱電機 PUHY-P560SCM-E1	13.40	3.62	1	365	24	18	4,647.25	
21	三菱電機 PUHY-P140CM-E2	3.53	0.95	1	365	24	18	1,224.24	
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									

対象外空調設備

メーカー	機 種	出力 (kW)	台 数	系 統
1	三菱電機 PUHY-J224M-B	5.50	2	
2	三菱電機 PUHY-P140CM-E2	3.40	2	
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

## ①メーカー・機種名

メーカー・機種名は銘板に記載されている正しい型番が表記されているかを確認して下さい。純正パーツの検索に支障が出ます。

## ②出力＝圧縮機呼称出力 kWh

銘板記載の出力が記載されているかを確認して下さい。

## ③制御電力 kWh

圧縮機の容量から計算した制御できる電力量

【計算方法】

②圧縮機出力×圧縮機入力係数 1.5×制御率 18%

## ④年間削減量 kWh

削減できる電力使用量。合計は年間削減使用量。

【計算方法】

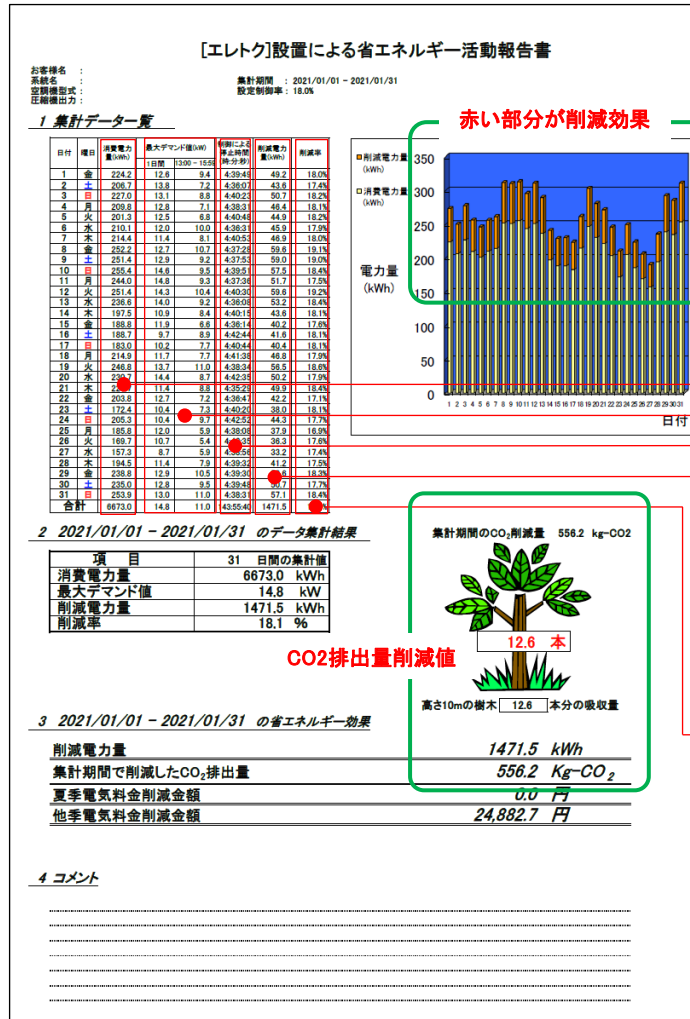
各月 ③×各月稼働日数×14時間×各月稼働係数×全体係数0.8  
上記試算で算出した各月を合算して年間削減量としています。

## ⑤対象外空調設備

対象外となる空調設備はここに記載となります。



# 報告書 実測データを基に、月次で節電(+CO2削減)効果をレポートします。



「エレクトク」は最大で180日分の電流測定値・制御回数・制御時間の記録が可能です。

その蓄積されたデータを専用プログラムで解析し、室外機1台ごとに「省エネルギー活動報告書」を自動作成します。

報告書には省エネ効果(コスト)だけでなく、CO2排出削減量も表示されるので、貴社のIR(ESG開示、SDGs取組等)のエビデンスとしての活用も可能です。